

支部REPORT 茅ヶ崎・寒川 支部

2016.9.2. 掲載

「茅ヶ崎・寒川支部の概要とふれあいの集い」

茅ヶ崎・寒川支部長 栗原 幸正(S55年卒)

茅ヶ崎寒川支部は、人口24万人を有する茅ヶ崎市と、4万8千人の寒川町の市町にある小・中学校40校に関わる横浜国立大学教育学部並びに教育人間科学部出身者で構成されております。ご退職なされた会員は61名、現職で活躍中の会員は52名で、総数113名の会員で構成されております。卒寿でお元気な会員も7名を数え、年1回の「友松」の配布を楽しみにしているというお声も支部には届いております。

しかしながら、どの支部も直面する喫緊の課題である会員数の減少につきましては、横浜国立大学教育人間科学部からの教員の輩出の激減により、新たな会員が支部に登録できない事態が続いております。今後行われる予定の、横浜国立大学の教員養成課程の再出発に大きく期待する次第です。そのような中でも、他県からの異動者が会員であったことが判明するなど、地道な調査活動が身を結び、会員増がここ数年続いていることはうれしい限りです。厳しい予算の中で、会員増を目指しつつ、数十年にわたり会費納入等の連携の証が取れていない会員の方々にはいったん休会をお願いするなどの自助努力のもと、予算確保にも努めております。

現在本支部では、年4回の役員会を開き、支部の運

営や課題について協議するとともに、毎年8月第4土曜日に総会「ふれあいの集い」を開催しています。今年度も友松会本部の芦川弘会長をご来賓にお迎えし、8月20日(土)に北茅ヶ崎駅前「しも川」にて17名の出席のもと実施しました。会は、支部長並びに県会長の挨拶に続き、県会長委嘱評議員の新村俊彦先生の「書」に係る話題提供の後、会員同士が旧交を温め、和やかな雰囲気の中で閉幕いたしました。

総会の中では県幹事の山本会員が、平成29年度県友松会総会実行委員長としてご挨拶をされ、平成29年度に茅ヶ崎市役所のコミュニティホールで総会並びに懇親会を実施することを確認いたしました。来年度の総会に向けて丁寧に準備を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

